

数学・理系 — 岡山大学 2025 年入試問題分析 — 岡山進研学院

全体講評： 例年通りのレベル的には標準問題のセットではあるが、試験場で時間内に解くには中々やりづら いだらうと思われる。まず計算量が多い問題が増 えた。工夫を要する問題や、答案を仕上げるのに 苦労するものも含まれ、慌てた受験生も多かった のではないだろうか。毎年出題のあった場合の数、 確率やベクトルは見受けられず、整数問題は現役 生には少しなじみの薄い問題かもしれない。			試験時間	120 分
			難易変化	易化 / やや易化 / 昨年並 / やや難化 / 難化
			分量変化	減少 / やや減少 / 昨年並 / やや増加 / 増加
大問	区分	内容	講評	レベル
問 1	数 A	不定方程式	文系と類似問題ではあるが、設定を変えているため少し難しい。旧課程では典型問題ではあったが、現役生にはやや不利か。	★
問 2	数 B	格子点 数列の和	共通テストと同じテーマ。空間図形における格子点で難問に近いが、誘導が細かい分そこ にくまなく乗れば完答は可能か。答案の書き 方も問われる問題。	★★
問 3	数 II、C	図形と方程式、軌跡 2 次曲線	(1)(2)は数 II の範囲。そのまま II の手法で軌 跡を求めるか、答えをある程度予想して数 C の定義を用いた手法で求めるか。差がつく問 題。	★★
問 4	数 I、II、 III	三角比、三角関数 微分法（最大値）	(1)(2)は標準的だが(3)(4)からの計算や展開 に戸惑った受験生も多かったのではないか。 計算量で疲弊し、さらに答えを出して不安に なるという、解きづらい問題である。	★★
学習指針： 各大問とも前半は標準問題ではあるが、後半が難しい。解 ききるためには普段からしっかりとした基礎力を確立さ せた後、旧帝大クラスの問題まで演習する必要があると思 われる。苦手分野をなくすことはもちろんのこと、どの単 元でも偏りなく問題演習を積み重ねることが大切である。 共通テストと同じテーマの問題が出題された。常に目にし た問題の復習をきちんと行い、自力でできる問題を一つで も多く増やしていくことも重要である。			※ 難易変化、並びに分量変化は対昨年比となっ ています。 ※ レベル表示は次の区分になります。 難 → ★★★★★ やや難 → ★★★ 標準 → ★ やや易 → (無表示) 易 → (無表示)	

